

数学

<全体分析>

試験時間

80分

解答問題数

6題

解答形式

[1], [2], [3]はマーク式, [4], [5], [6]は記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

典型的な問題の出題が中心であるが, 計算量が多い問題, 図形的センスの問われる問題も見られる。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1] (1)	2次方程式 整数	II A	2次方程式の解と係数の関係 整数解	易
(2)	三角関数	II	倍角公式, 合成	やや易
[2]	確率	A	非復元抽出, 条件付き確率	標準
[3]	指数関数・対数関数 数列	II B	指数を用いて表された関数 等比数列	標準
[4]	空間ベクトル	B	2つの正四面体の交わりでできる点, 四角錐	やや難
[5]	指数関数・対数関数 整数	II A	対数関数の整数部分・小数部分	標準
[6]	微分法・積分法	II	3次関数の絶対値で表された関数の最大値 (場合分け), 積分計算	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

標準的な問題が出題の中心であるが, やや難しい問題, 計算量の多い問題も出題される。

例年「数列, 確率, 指数・対数関数, 空間座標, 微分法・積分法」は出題されるので, これらの分野は特に学んでおきたい。

なお, 英数のマーク式の部分が一定の点数に達しないと, [4]~[6]の記述部分は採点されないので注意が必要である。